



関東聖化交友会々長に聞く

「聖化の内実とその実証」のために

関東聖化交友会々長
日本ホーリネス教団坂戸教会牧師

村上宣道

JHAの発会は一九八五年十二月。それが全国的な連携のもとに、地域的な交わりと活動をより主体的に推進することを意図して再編されることとなり、関東地区では一九九一年三月に、関東聖化交友会が発足したのでした。そしてその初

さて、初代会長の尊い祈りと労とが空しくならないためにも、御旨にかなう今後はどうあるべきかを主に求めております中で、確認すべきは少なくとも次の四点にあらうかと示されております。

代会長に就任され、本年六月二日みもとに召されるまで、まさに生命のかぎり燃焼し尽すが如くにして陣頭指揮をとって下さったのが葛田眞實先生でした。並

第一は、正しい継承ということ。初代会長は就任のごあいさつの中で、この会は「交友会」の名の通り、「聖化」のメッセージを中心とした「交わり」であり、志を同じくする者たちの運動の如きもの」と言っておられます（本誌11号）。

第三は、ますます力強く「聖化」の宣証をという事です。そのためにも「聖化大会」が各地でもっと盛んになることを期待してやみませんが、のみならず、教会で、そして個々の生活の場における宣証の肝要さをも、ぜひ喚起し続けていきたいところ。第四は、いろいろな面での積極的な推進心がけねばということでしょう。それは目的としてうたわれている「ホーリネスの宣証に寄与すること」がより強力に遂行されるためにほかなりません。

並ならぬ熱意を、発揮された強力なリーダーシップとは、そこにかかわるごなたもが知るところであります。それが惜しまれることに会長としての任期半ばでありましたために、その残留期間の穴埋めとして、まことに青天の霹靂、この者が後任ということになってしまいました。

そのことを私たちは確認しつつ、その中心とする「聖化」のメッセージを聖書にさかのぼって正しく継承し、更にはこれを承継させることなく、次の時代へと継承させていかなければなりません。

第一コリント12・31より、関東における今年のテーマは「聖書に、最高のクリスチャンライフを求めて」となっており、「聖化の内実とその実証」がその副題です。それは一大会のテーマというだけでなく、「内実とその実証」こそは、私たち自身のテーマそのものと思えてなりません。

一時的にとはいえ、あまりにも応しくない者だけに、恐れおののくばかりです。ただ幸いに、優れた器方が謙虚にも副会長という形で支えて下さっていますので、意を強くしつつ、暫しの責任を果たさせて頂きたいと願っているような次第です。

第二は、確立です。初代会長がそのごあいさつでもやはり言及しておられるように、私たちの交わりは、共通した鮮明な「信仰内容」が基盤であることは言うまでもありません。ポーターレスの時代」と言われる今日、その共通の「信仰内容」がより明確な形で「聖化の神学」

関東聖化交友会副会長に聞く



ウエスレアン・ホーリネス教会連合

浅草橋教会牧師 黒木安信

「より堅固に、より深く、そしてより広く」

良質の水を得る秘密は、より深く掘り下げ、水脈に至ることだと言われます。

JHAは聖書的、使徒的福音に堅く根ざしたホーリネスを宣証するために興されました。それはいわば「神の聖」という水脈から「命の水」を汲みつけ、共に味わい、養われつつその聖流を広く日本の霊界にとどけていく使命を担うための群れでもあります。

五年前、「関東聖化交友会」と改組された折、会長の萬田眞實先生からお電話があり、その任にふさわしくない者ですが、及ばずながらも諸先生方と祈りを共にさせていただきつつ、今日に至っています。

その間、萬田先生が関東JHAに注いで行かれた御愛勞の数々は、実に計り知れないものがあります。今、その先生を主の御許にお送りし、誰も埋めることのできない大きな穴がポツカリ空いたと思います。

しかし、先生が最後の最後まで命を削るようにして注ぎ、身をもって示し、見せて下さったことどもをしつかりと継承し、より堅固な土台、内実としていく時にお互いに今、立たされているのではないのでしょうか。

第二世代の「イサク」は井戸掘りに専念しています。

父アブラハムの井戸を掘りなおし、何度それを手離しても、黙々と井戸掘りにチャレンジして行きました。そしてついに争いの起こらない「広い場所」(レホボテ)を獲得して行くのです。

「今や、主は我々の繁栄のために広い場所をお与えになつた」と。(創世記二六・22)

イサクはこの「今や」という経験に至るまで、与えられた役割を忠実に果たしていったのです。父アブラハムに約束された「祝福」がイサクへと委ねられたのは、その後のことでした。彼が「そこに祭壇を築き、主の名を呼んで礼拝した(25節)」とは、イサクの生涯が、今ひとつの危機を乗り越えて、より深い水脈へと達したことを暗示しています。

JHAの働きが主に用いられ、お互いの内に「今や」という現状を突き抜けていく祝福がもたらされていくなら、どんなにすばらしいことでしょうか。

更にまた、JHAの使命は日本の教界にホーリネスの恵みをより広く宣証していくところにあります。

折角、苦勞して掘った井戸を主人イサクが次々と手離していくのを見て、イサクの僕たちは井戸掘りをやめてしまったようです。しかし、主人が「今や、主は我々の繁栄のために広い場所をお与えになつた」と歡喜して進み行く姿に、僕たちも感動を受け、再び井戸掘りを手がけていきます。そしてついに僕たちの口から「水が出ました(32節)」という叫び声が発せられるに至つたのです。自らがこの恵みにより深く与かりつつ、より堅固なものをより広く、宣証して参りたいものです。

関東聖化交友会副会長に聞く



日本イエス・キリスト教団

東京若枝教会牧師

飯塚俊雄

このたび、村上先生をいささかなりともお助けするということで、藤本先生、黒木先生と心を合わせてお仕事をさせて頂くことになりました。萬田眞實先生亡きあとの大きな空白をどのようにうずめるべきか、ただただ上を仰ぐのみです。お祈り下さい。

今秋の聖化大会には、主講師としてアズベリー神学大学院の神学部長のケネス・キングホーン博士が来られます。教会史と歴史神学の教授としてその令名は欧州にも知られています。また按手礼を領した牧会者として、知的にも靈的にも多くの方に多大の感化を与えて来た方です。

四年前、初来日の折、一週間のお交わりを頂きましたが、柔和と謙遜、その人柄の温かさ、こまやかさは「きよめ」の証人そのものとお見受けしました。

先生には「御霊の賜物」というベスト・セラーがあり、教会史家としての冷徹な目と熱い心で、この大切な、しかし軽視されて来たこの問題に光を当ててくれています。すでに九冊のご著書がありますが、目下「イラスト入りのウエスレアン事典」と「アメリカにおけるメソジズムの歴史」を執筆中と伺いました。完成が待たれます。ヒルダ夫人は教会教育の専門家で、旧ソ連邦のエストニアまで教えに行く熱情をお持ちです。二男一女に恵まれておいでです。

キングホーン、その名の如く先生は王の角笛を吹きならして覚醒を与え、聖霊の全き支配の下に生きる祝福へと招かれています。喜んでお応えしたいと思います。

関東聖化交友会副会長に聞く



イムマヌエル綜合伝道団

高津教会牧師 藤本栄造

第十一回聖化大会は、去る三月の関東聖化交友会の評議員会にて故高田眞實会長が辞任され、村上宣道新会長が就任された新しい体制のもとで開催される。

この種の大会は、初めは盛大であるが、次第に惰性的になり衰退するものが多い。しかし、聖化大会は回を重ねる毎にその内容、参加者の数、最近は女性委員会も設けられたことなど、それに加えて経済的にも充実しつつあることは感謝である。

これには、当初より日本福音文書刊行会が全面的に協力されたこと、聖化交友会は個人加盟であるが、首都圏のきよめ派のほとんどの教団と教会の先生方が加盟されており、お互いの共通の使命感と責任の分担において一致協力されてきたこと、さらに各神学校のよきご理解と積極的な協力によるものであると思う。

聖化大会の目的は

① 聖書的ホーリネスの宣証である。

聖書的ホーリネスのメッセージが語られ、その恵みを求め、また信仰を新しくするため恵みの座に進むものが多くなってきた。

② 研鑽の時である。

毎回主講師に米国より著名な講師を迎え、最新の神学の動向と教会が直面している課題を取り上げたセミナーと聖会。また、国内にて活躍されている先生方の講演や証しを聞く、よき学びの時である。

③ 親しい交わりの時でもある。

聖化大会は、同じ信仰に立つものたちが、教団を越えて親しく交わりのできる楽しい時である。そして、大会のため協力することを通しての良き交わりは、お互いの大きな励みである。

④ 聖化大会の大きな目的は、この信仰を後継者に伝えることである。各神学校の協力を得て神学生が参加し交友がされている。

聖化大会は当初、日本聖化交友会が主催し、会長の本田弘慈先生が指導された。その後、関東聖化交友会が誕生して故高田眞實先生が指導され、今回は新会長の村上宣道先生が指導される。会場も、おもに淀橋教会を使用して頂いたが、新会堂建築のため昨年は社会文化会館ホールで、今年は日本教育会館一ツ橋ホールにて行われる。時は移り、人も会場も変わり行くが、聖書的ホーリネスのメッセージは不変である。

今年、アズベリー神学校のケネス・キングホーン博士を主講師に迎える。学識、人物ともにホーリネスをあかしする器と聞く。どんな大会になるのだろうかと期待し、今年も昨年によさる充実した大会となるように熱願している。(ユダの手紙3節)

第11回聖化大会の主講師紹介



■主講師プロフィール

ケネス・C・キングホーン博士
アズベリー神学大学院教授

第11回聖化大会の主講師として来日されるキングホーン博士は、現在アズベリー神学大学院の神学部長の要職にあられます。ご専門は教会史と歴史神学で、教授としての令名は、国の内外に知られているお方です。また、按手礼を受けた教職として、知的にも霊的にも学生たちに多大の感化を与えておいでです。ある牧師は、「留學生に対する先生の優しい心遣いを忘れることが出来ません」と言い、またある牧師は、「先生の授業は、本当に良く準備されていて、わかりやすく、将来への方向づけを与えてくれるので、毎回が楽しみだった。」と申します。

先生は、柔和で謙遜、文字通り「聖化」の立証者です。既に数十万部が売れ、今も注文が絶えないという、御霊の賜物(今大会で邦訳出版)を初めとして、九冊の著書があり、目下、イラスト入りのウエスレアン事典と、アメリカにおけるメソジズムの歴史を、それぞれ執筆中です。アズベリー大学で神学修士号を、エモリー大学で哲学博士号を取得しておられます。

ヒルダ夫人も教会教育の専門家で、エストニアのウエスレアン神学校へ出向かれる程です。二男一女の良き家庭の人でもあられ、いずれも現在神学校で学んでおられます。ご多忙の中を、わざわざ時間を割いて快くおいて下さいます。大いなる期待を以て主のみわざを待ち望みたいと思えます。

(紹介文・飯塚 俊雄)

第11回聖化大会へのお招き

ホーリネスの宣証…それは命を懸けるもの

第11回聖化大会実行委員長

チャーチ・オブ・ゴッド 瀬谷グレース・チャペル牧師 伊藤 昭吉



第十一回関東聖化大会に本誌読者の諸師、諸兄弟をお招きできることを嬉しく存じます。今回の会場は日本におけるホーリネス諸派の発祥の地といわれる神田神保町に近い「日本教育会館一ツ橋ホール」です。今回のテーマは今春から会長に就任された村上宣道師から、「さらさらまされる道」(Iコリント12章31節)であるホーリネスの宣証をと言うことで「聖書に最高のクリスチャン・ライフを求めて」聖化の内実化とその実証」と発表されました。

主講師はアズベリー神学大学院神学部長の要職にあるケネス・キングホーン博士です。ご専門は教会史と歴史神学です。ホーリネスを表層的に見るのではなく、歴史的な構造の中で展開していく方法に聖潔の確かさを与えてくれることでしょう。博士には聖潔に関するものを含めて九冊の著書があります。その中でもすでに十万余部が売れ、今も注文が絶えないという「御霊の賜物」はEPAから、今大会に合わせて出版されます。邦人講師は、藤本満師がセミナーで講じて下さいます。今、日本のキリスト教界において期待されている若手の器です。先生は先年「ウェスレーの神学」という大作を世に出しました。これは今後ウェスレーを研究する者が一度は目を通さねばならないランドマーク的な著作であると言われています。毎回祝福されている女性大会の講師は村上宣道師が担当されます。大いに期待できる聖化大会になると確信しております。日本聖化交友会は一九八五年に発足して以来聖潔を求める運動は全国規模に広がりを見せました。そこで一九九一年にこの運動体は再編成され、各地域が主体性をもって聖潔の宣証に取り組みことになりました。こうして関東聖化交友会ができ、初代会長に就任されたのが去る六月に天に召された萬田眞實師でした。萬田師は会長に就任されてから今年の三月にお体の弱さを訴えて辞任するまで、文字通りホーリネスの宣証に命を懸けてこられました。

私は昨年の秋の聖化大会に、それまで入院加療中の萬田師が病院の担当医師を説き伏せて無理に退院され、大会に出席して私たちを陣頭指揮されたときのことを忘れることが出来ません。ホーリネスの宣証は命を賭しても成し遂げるに値するものであることを教えられました。今年の聖化大会に多くの同信の諸師、諸兄弟が参加されるようにお祈りしてやみません。

地域だより

第9回 東海聖化大会

【テーマ】「聖書的きよめへの豊かな招き」
 【お招き】東海聖化交友会の歩みも、主の恵みも9年目に入り、今年は、遠州プランチが開設され、6月の東海聖会も栄光を拝しました。秋のセミナー・大会にも主の豊かな祝福があることを信じ、祈り待ち願っております。
 【講師】ケネス・C・キングホーン博士
 【日時】10月24日(木) 午後2時30分
 (セミナー) 午後4時30分
 (総会) 午後7時
 (聖化大会) 午後7時
 【会場】福音センター (イムマヌエル名古屋教会)
 【主催】東海聖化交友会
 【連絡先】イムマヌエル総合伝道団名古屋教会
 〒453 名古屋市中村区中村町7-46
 福音センタービル
 TEL.052-411-0687 FAX.052-413-2033

第7回 九州聖化大会

【日時】11月6日(木)~7日(金)
 【会場】日本ナザレン教団 熊本教会
 【講師】横山 義孝先生
 黒木 安信先生

第31回 ジョン・ウェスレーに学ぶ会

(大阪大会)
 【会場】日本ナザレン教団 桃谷教会
 大阪市天王寺区堂ヶ芝2-11-19
 TEL.06-771-9358
 ●JR桃谷駅より徒歩3~5分

公開講座と聖会

午後 1:00~2:15	礼拝	斉藤 亘 師
午後 2:30~4:30	公開講座	K・キングホーン博士 (通訳/鎌野晋三師) 「現代におけるきよめ」
夜 6:30~8:30	聖会	K・キングホーン博士 (通訳/鎌野晋三師) 「聖書的きよめの体験」

第12回 栃木ブロック聖化大会報告

▽日時 8月4日(日)
 ▽会場 栃木ホーリネス教会
 ▽講師 本田弘慈先生
 ▽テーマと聖書箇所 「聖化の必要と祝福」(1ペテロ1:15-25)
 ▽多くの参加者が与えられ、その中で聖潔を求める者35名、献身表白者5名。
 ▽献金額 202,930円(目標20万円)
 厚いお祈りを感謝申し上げます。

第13回 栃木ブロック聖化大会

【日時】1997年3月2日(日)
 【講師】未定

総務レポート
 今秋、東京及び全国各地で開催される聖化大会の案内号の第22号をお届けします。更なる聖化宣証の拡大を、と願っています。(係)